

## 1. 令和3年度 科内目標

### 《業務目標》

1. 千葉市地域包括ケアシステムへの協力を継続予定。  
オンラインでの会議となった自立促進ケア会議への参加を継続予定。  
病院主催の公開講座や地域住民主催の地域活動に協力し、市民の健康維持増進に貢献する。  
本年度は糖尿病患者の運動療法をオンライン講座配信する。
2. 院内の取り組みへの協力  
①認知症院内デイケアの充実 ②COVID-19患者へのリハビリ介入の継続
3. 休日リハビリ対応の継続  
月曜日から土曜日まで充実したリハビリテーションを提供する。  
土曜日は3名体制、祝日は2名体制で対応する。
4. 他部署との連携強化  
病棟毎に担当療法士を配置し、医師・看護師・その他スタッフとの窓口となり、回診の同行・カンファレンス開催・退院調整時の情報提供など更に密接な関係を継続する。カンファレンス内容が看護計画に生かせるような取り組みを継続する。

### 《数値目標》

1. 療法士1人の1日あたり算定単位数年間平均18単位を目指す。
2. 業務の効率化を行い、時間外時間の是正を図る。1ヶ月1人10時間以下を目指す。

## 2. 診療体制（施設基準・特徴・臨床活動）・スタッフ

当科は、外来スペースにリハビリ室1(81.04 m<sup>2</sup>)と言語聴覚室(10.62 m<sup>2</sup>)、4階病棟に心疾患リハビリテーション室(32.63 m<sup>2</sup>)、5階病棟にリハビリ室2(16.43 m<sup>2</sup>)、6階病棟にリハビリ室3(16.43 m<sup>2</sup>)を設けている。

### 施設基準

脳血管疾患等リハビリテーションⅡ  
廃用症候群リハビリテーションⅡ  
運動器疾患リハビリテーションⅠ  
呼吸器疾患リハビリテーションⅠ  
がん患者リハビリテーション  
心大血管疾患リハビリテーションⅠ

スタッフ 12名

医師 1名  
理学療法士 6名  
作業療法士 3名  
言語聴覚士 1名  
事務補助員 1名

リハビリテーション部門として、月曜から土曜日まで連続したリハビリテーションを提供している。

### 3. 年間統計

表1, 2021年度診療科別  
リハビリテーション提供件数

診療科	延べ件数
内科(消化器等)	5410
外科	3384
小児・新生児科	3021
循環器内科	1544
整形外科	708
心臓血管外科	343
産科・婦人科	215
その他	270
総計	14895

(件)

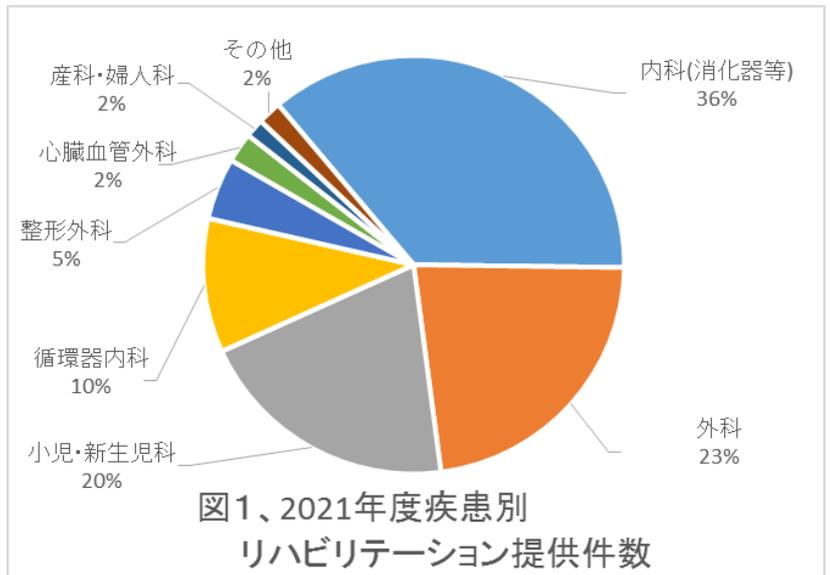
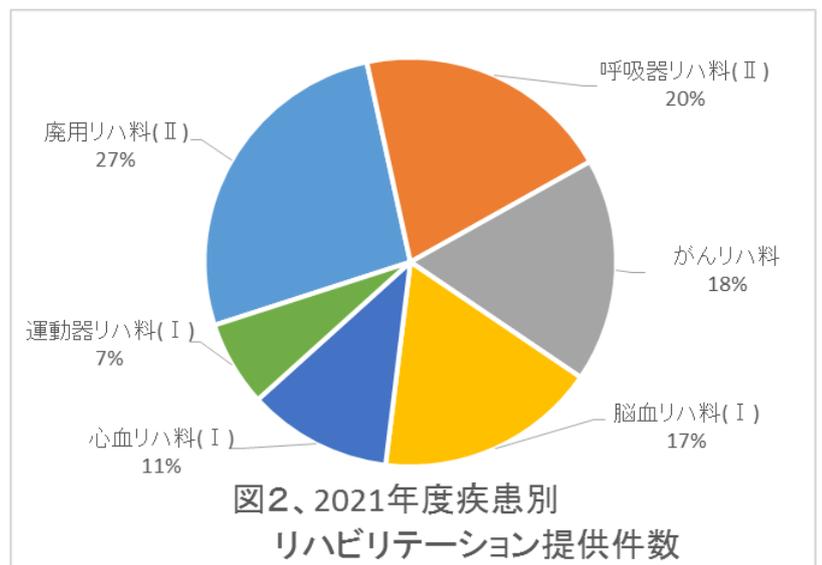


表2, 2021年度疾患別  
リハビリテーション提供件数

疾患別リハ	延べ件数
廃用リハ料(Ⅱ)	3963
呼吸器リハ料(Ⅱ)	3014
がんリハ料	2634
脳血リハ料(Ⅰ)	2592
心血リハ料(Ⅰ)	1689
運動器リハ料(Ⅰ)	1003

(件)



## 4. 1年間の総括

2021年度の院外活動は、COVID-19の感染予防対策の為、休止又は自粛となったものが多い。

千葉市の地域包括ケアシステム・自立促進ケア会議は昨年未より再開されず、活動は行われなかった。

千葉圏域リハ・パートナー登録施設として、近隣地域で行われている介護予防に資する通いの場への運動指導や助言等の療法士派遣協力活動についても感染予防の観点から派遣を自粛した。

毎年、海浜病院主催で行われている「市民公開講座」についても自粛となり、院外での活動はほぼ行うことが出来なかった。

唯一、院外に向けての活動を行う事が出来たのは、「糖尿病の運動療法」の講演内容をYouTubeによる動画配信として病院ホームページ上で公開する事が出来た。

院内での取り組みは、院内Day活動を感染予防に留意しながら毎週2回を継続することが出来た。

入院患者のリハビリ実施についても、昨年度に整備した4階の「心臓リハビリテーション室」、5・6階の「病棟リハ室」を有効的に利用し、病棟間の行き来を出来るだけ無くす感染対策を行い安心・安全なリハビリを提供することが出来た。

COVID-19陽性患者へのリハビリ対応も昨年に引き続き理学療法士が担当、継続し、早期離床・早期回復、退院に貢献出来たと考えている。

数値実績では、昨年度COVID-19感染拡大のため、外来・入院患者が減少し13,653件と減少していたが、今年度は、昨年・一昨年以上の14,895件の患者件数となった。

しかし、療法士1人1日の単位数については、昨年度平均16.0単位から今年度、15.1単位と減少し、目標の18単位からは遠ざかってしまった。

時間外業務時間数の是正については、前年度、療法士1人1ヶ月平均11.2時間から、今年度、1人1ヶ月平均10.7時間となり、わずかであるが是正する事が出来ている。

## 5. 今後の目標

院内の今後の発展に向けた取り組みを進めると共に、千葉市の病院・市職の役割として、千葉市地域包括ケアシステムの推進への協力を出来る範囲で継続する。

- ・千葉市自立促進ケア会議への協力(地域を限定し美浜区への参加)
- ・千葉市地域リハビリテーション活動支援事業への協力(美浜区)
- ・新設される脳神経外科の運用協力、調整を行う
- ・院内・院外公開講座、ミニ講座の開催、協力
- ・認知症院内デイケアの継続
- ・切迫早産、産後のためのリハビリ教室の開催を実現
- ・COVID-19陽性患者へのリハビリ介入の継続
- ・新病院整備基本計画への参加・協力
- ・新電子カルテシステム変更に関する他部署との調整を進める